

# 知っちよる？

## しものせき

下関市立大学編

このページは、ジュニアのページ(J'sページ)として市内5大学と連携して作成しています。小・中学生、高校生に向けて、毎月、大学のユニークな取り組みや役立つ情報を分かりやすく紹介するコーナーです。記事は、月ごとに各大学が持ち回りで担当しています。

今月の担当は下関市立大学です。

## 「鯨」と「ふく」の資料室へようこそ！

約5000点ある資料のうち、鯨関連の資料が約3200点、ふ

どんな資料があるの？

みんな、知っちよる？  
下関と言えば、おいしい「ふく」が有名ですが、「鯨のまち」としても長い歴史があります。国内有数の水産都市・下関にある下関市立大学には、国内の大学では非常に珍しい、「鯨」と「ふく」の資料室があります。鯨資料室は平成19年に、ふく資料室はその翌年に、図書館が入っている学術センター内に設置されましたが、年々増加する資料に対応するため、平成23年に新築された本館Ⅱ棟の2階に移転しました。現在は鯨やふく、水産関連資料や地域資料などを含めて約5000点近い資料を所有しています。寄贈資料も年々増え、鯨・ふく資料室が広く認知されるようになりました。

資料室が収集した鯨やふくの資料を基に調査研究を行い、その成果を論文としてまとめたり、鯨やふくのシンポジウムを通じて情報発信したりなど、地域貢献にも大きな役割を果たしています。

また、鯨資料室では鯨や捕鯨関連産業に関する仕事をしている方にインタビューをしながら映像として記録したり、県内の大学図書

資料室はどのような活動をしているの？

く関連の資料が約600点ありますが、戦前の南氷洋捕鯨出漁時の日誌や海図、捕鯨母船の設計図など、国内では本学鯨資料室しか所有していません。また、イワシクジラの実物の頭骨やセミクジラのヒゲ、捕鯨母船の断面模型やふくの剥製標本など、目で見て楽しめる資料もたくさんあります。

これからの課題は？

毎年増えていく多くの資料の保管場所の確保が一つの大きな課題です。それとともに、鯨・ふく資料室の資料収集の方針、資料室の将来の方向性について、議論を行っていきたいと思います。

「鯨資料室」と「ふく資料室」は平日の午前9時～午後5時の間であれば、どなたでも見学・利用できます。ぜひお越しください。

※大学行事により利用できないことがあります

下関市立大学地域共創班

(☎254-8613)



「鯨」「ふく」資料室の内部



イワシクジラの頭骨



夏休みに開催「くじらサマースクール」



地域の史資料